

会議録（要点筆記）

会議名	第1回 米原市総合教育会議
開催日時	平成27年5月18日（月）9時30分～11時00分
開催場所	米原市役所山東庁舎2階 会議室2AB
出席者および欠席者	<p>構成員</p> <p>平尾道雄市長、山本太一教育長、稲村邦夫教育委員、河居郁夫教育委員、小路芙美恵教育委員、本庄通子教育委員</p> <p>事務局</p> <p>田中祐行政策推進部長、田中博之教育部長、岩山光一こども未来部長、宮崎幹也教育部次長、安食こども未来部次長、仲谷良徳教育総務課長、岡田克美学校教育課長、桂田峰男歴史文化財保護課長、山田英喜政策推進部理事、小寺真司政策推進課長補佐ほか担当職員2人</p> <p>傍聴者</p> <p>1名</p>
議題	・米原市の教育について
結論	・今回の会議での議論を基本に、次回から大綱に盛り込むべき内容について協議していくこととし、最終的には、平成28年度に策定予定である米原市教育振興計画に合わせ、大綱の策定を行っていくこととする。
審議経過	<p>事務局</p> <p>1 開会 （事務局から開会あいさつ）</p> <p>市長</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>・市長部局と教育委員会がしっかり連携強化し、子どもたちをどのように育てていくのか、教育の在り方や、教育が目指すべき望ましい将来像について意見交換し、地域の思いや願い、米原市独自の方向性を議論していきたい。</p> <p>委員、事務局</p> <p>3 自己紹介</p> <p>・構成員、事務局の順で自己紹介</p> <p>事務局</p> <p>4 会議の運営について</p> <p>（1）米原市総合教育会議の概要について（資料1）</p> <p>事務局から、米原市総合教育会議概要版（資料1）に基づき、米原市総合教育会議の設置趣旨等を説明した。</p> <p>米原市総合教育会議の方向性として、今年度は、教育、学術および文化振興に関する総合的な施策の大綱の策定に関する協議（大綱に盛り込むべき内容の検討）、教育に関する重要施策の方向性の検討（新年度予算など）について、年間4回程度の開催を予定していること、児童・生徒の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき施策は、緊急事態が発生した場合に随時開催することを説明した。</p>

事務局	<p>(2) 米原市総合教育会議規則について（資料2）</p> <p>総合教育会議に関する規則について、資料2のとおり説明した。</p>
事務局	<p>5 協議項目</p> <p>(1) 米原市の教育について</p> <p>米原市教育振興基本計画の概要について（資料3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米原市教育振興基本計画は、概ね10年先における教育の姿を見据えた計画で、総合計画と同じく平成28年度を目標年次としている。学校における教育環境だけでなく、子ども同士や親同士がともに学び合い育ち合う環境、さらに学校・家庭・地域がそれぞれの責任を果たしながら、連携して子どもを育てる環境をつくること、子どもたちの成長をみんなで支え、子どもから大人まで全ての市民が生涯にわたって学び合い育ち合い、様々な場面で活躍できる人づくり、学びのまちを目指していることなどを説明した。
委員	<p>協議要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までからも市長と教育委員会は連携していたが、本会議の設置により改めて、市長・教育委員会の連携が必要であると考えており、有意義な会議としたい。 ・教育行政は、10年、20年先のビジョンを描くこと、地域のニーズにどのように応えていくかの2本柱で進めることが大切である。教育は、「学び合い」、「育ち合い」、「支え合い」が大切。教育にはこの「合い」すなわち「愛」がなければならない。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生も生徒の減少で少なくなっているなので、できるだけ多くの地域の方に学校に関わってもらって「学校応援隊」を作って、地域とともに歩む学校づくりを進めたい。また、子どもから大人も学び合う「学びのまち米原」でありたい。学校の授業の中でも、子どもたちが共に学び合い、育ち合い、支え合うことが大切である。県の基本計画にもある学び合いがテーマになるのではないかな。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合いに共感している。ルッチ大学を卒業した方も、まちづくり、ひとづくりに協力している。卒業しても学び合うことは良い。義務教育は、子どもの育ちに重要な時期なので、米原市のDNA（郷土愛）を受け継ぐ教育をして欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校のつながりが、子どもから大人までの学びにつながる。地域の人材を生かした地域とともに歩む学校づくりを進めて欲しい。

教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・大原小では、夏休みの除草作業でPTAだけでなく、学区民の方に参加していただいている。そういう地域とともに学校を支える精神の広がりを持っている。その中から応援隊をつくり、社会で学んできたことを学校で教えていただけると良い。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・米原ならではの教育へのこだわり、義務教育の期間を米原で育った価値が、魅力となるよう位置付けたい。自然環境の豊かさ、小規模校ならではのきめ細かな教育が受けられるなど、学びのまち米原をシティセールスしていきたい。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学力状況調査の生活アンケートで、子どもの自尊感情が全国平均よりも低い。自分が大切にされている、認められていると感じている子が少ない。家庭や地域など、人との関わりに物足りなさを感じているのではないか。地域や自分自身に誇りをもち、自尊感情を高めれば、地域を大切に、学力も伸びてくるのではと感じている。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・米原市に暮らしている人が、米原が良いと思いついてくれるようになることが大切である。地域が持っている個性や特性を教育やまちづくりの将来展望として出していくことが大切である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・その年代に合わせた地域活動をするのが大切ではないか。米原市では、「伊吹山へ登ろう」、「ふるさとを描こう」、「本を読もう」の活動を継続している。このような地域と関連する体験を、幼少のころから継続して行うことが大切ではないか。体験活動を通じた特色ある学校経営をして欲しい。また、最近では、先輩が後輩を教えることが少なくなり、簡素化が進んでいる。学校教育も地域のまちづくりでも同じ、人と人との関わりを持ち、共に議論を交わすことが大切ではないか。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に比べ学校現場が忙しくなっており、教師同士が授業について語り合ったり、活動したりするゆとりがなくなっている。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・先生には、少しでも多くの時間子どもに向き合って欲しいので、時間を取られている事務処理に事務員を置いて対応するなど手立てを打つべきだと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートから、保護者は子どもに思いやりや、やさしさを重視している。自分を大切にすることができると、人へのやさしさにつながる。いろんな年代と交流することが大切ではないか。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え方の発信の仕方について、100%自信がないと発言しない子が多いと感じている。伝える力の育成が大切である。

市長	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人は遠慮が美德とされてきたが、考え方も変わってきた。自分の表現の仕方を間違えると、自信を失うことにつながる。コミュニケーション力や人との交わり方を学ぶことは大切である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・米原で育った良さ、歴史の良さを家庭の中で伝えていく必要がある。子ども達が、素晴らしい自然に恵まれていることを実感させるためにも、米原の良さを発信していく必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原小学校では、地域の人が学校に行って活動をしている。この動きが大切になると思う。学校に地域の人が入って、先生や地域の人に褒められると自尊心が高まると思う。また、学校も生徒数が少なくなり、部活動の数も減っている。総合型スポーツにウェイトを高める必要がある。地域の人とも触れ合えることができるし、地域の人に褒められると子どもの自尊心も高まる。 <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議で議論した内容を整理し、次回から大綱に盛り込むべき内容について協議していくこととし、最終的には、平成28年度に策定予定である米原市教育振興計画に合わせ、大綱の策定を行っていくこととする。 <p>5 閉会</p> <p>午前11時終了</p>